

- 問1 東大寺南大門に安置されている、運慶らによって制作された彫刻作品について、その特色と名称の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 貴族の優雅な生活を背景とした繊細な特色を持つ、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像 | 2. 町人の経済力を背景とした華やかで装飾的な特色を持つ、風神雷神図屏風 | 3. 武士の台頭を背景とした力強く写実的な特色を持つ、金剛力士像 | 4. 江戸時代の浮世草子の流行を反映した、力強い木版画の人物像 |
|--|--------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
- 問2 1221年、鎌倉幕府の混乱に乗じて朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇が、幕府を倒すために兵を挙げた出来事を何とといいますか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 平治の乱 | 2. 承久の乱 | 3. 応仁の乱 | 4. 保元の乱 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 鎌倉時代に親鸞によって開かれた、阿弥陀如来の力を信じて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることで、誰でも極楽浄土に往生できると説いた仏教の宗派を選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| 1. 浄土真宗 | 2. 浄土宗 | 3. 時宗 | 4. 曹洞宗 |
|---------|--------|-------|--------|
- 問4 鎌倉時代において、ある御家人の持っていた広い所領が、数代後には複数の親族によって小さな区画に切り分けられた状態になっていました。この状況が御家人に与えた影響と、その背景について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 一族が各地に分散して領地を持つことで、幕府に対する反乱を計画しやすくなり、幕府の統治力が低下した。 | 2. 世代を重ねるごとに一人あたりの領地が小さくなり、軍役などの負担に耐えられず御家人が困窮する原因となった。 | 3. 土地を細かく分けることで、それぞれの土地に最適な農作物を育てるようになり、御家人の収入は大幅に増加した。 | 4. 長男のみが全ての土地を継承する仕組みに変わったため、所領をもらえない他の兄弟が不満を抱き、一族内で争いが絶えなくなった。 |
|--|---|---|---|
- 問5 東大寺南大門に安置されている、筋骨隆々とした力強い造形美を誇る金剛力士像を制作した、慶派（けいは）を代表する仏師の組み合わせを選んでください。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|------------|----------|
| 1. 運慶と快慶 | 2. 雪舟と狩野永徳 | 3. 世阿弥と観阿弥 | 4. 最澄と空海 |
|----------|------------|------------|----------|
- 問6 14世紀前半、鎌倉幕府の政治に対する不満が高まる中で倒幕の計画を立てて兵を挙げた天皇と、それに応じてもとは幕府側の有力な御家人でありながら京都の六波羅探題を攻め落とした人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 後鳥羽上皇と源頼朝 | 2. 後醍醐天皇と足利尊氏 | 3. 後醍醐天皇と足利義満 | 4. 後鳥羽上皇と足利尊氏 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
- 問7 御成敗式目（貞永式目）の歴史的な意義や性質について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 江戸幕府が制定した、大名を統制するための基本的な法典である。 | 2. 聖徳太子が制定した、役人の心得を示すための道徳的な教えである。 | 3. 明治政府が制定した、国民の権利と義務を定めた日本最初の憲法である。 | 4. 源頼朝の時代から続く武家社会の慣習を明文化した、最初の武家法である。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問8 鎌倉時代の社会において、鎌倉幕府に任命された地頭と、農民や荘園領主との関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地頭は幕府の権威を背景に現地で支配力を強め、年貢の徴収をめぐる荘園領主と争ったり、農民に武力による不当な要求を行ったりした。 | 2. 地頭は農民の中から選ばれた代表者であり、荘園領主による過酷な年貢の取り立てを阻止するために幕府から警察権を与えられていた。 | 3. 地頭は国ごとに配置され、その国の軍事権を一手に握ることで、農民が荘園領主に反抗しないよう監視することを主な任務とした。 | 4. 地頭は天皇から任命された地方官として、幕府の干渉を受けることなく、荘園領主と協力して農民の生活を保護する役割を果たした。 |
|---|--|--|---|
- 問9 東大寺南大門の内部に安置されている、鎌倉時代の彫刻を代表する作品とその制作者の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 行基らの勧進によってつくられた東大寺大仏 | 2. 定朝（じょうちょう）によってつくられた阿弥陀如来像 | 3. 鑑真（がんじん）の弟子たちによってつくられた鑑真和上像 | 4. 運慶や快慶らによってつくられた金剛力士像 |
|-------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------|
- 問10 鎌倉幕府の第3代執権である北条泰時が、1232年に「御成敗式目（貞永式目）」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 平清盛のような有力な武士が朝廷の権力を握るのを防ぐため、貴族や寺社を厳しく統制する基準を作るため。 | 2. 承久の乱の後に急増した、地頭と荘園領主の間の土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。 | 3. 藤原氏による摂関政治を復活させるため、天皇の許可を得て新しい法律を全国に配布し、律令制度を強化するため。 | 4. 元（モンゴル帝国）の襲来という国難に備え、御家人たちの土地をすべて幕府の直轄地に変えるための命令を出すため。 |
|--|---|---|---|
- 問11 一遍が始めた「踊り念仏」が、当時の庶民の間に急速に広まった理由として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 念仏を唱える対価として、寺院が民衆に金銭や食料を配布したから | 2. 厳しい座禅や学問を重視し、知的な階層からの支持を集めたから | 3. 音楽や踊りを伴う親しみやすい方法で、特別な修行をせずとも救われると説いたから | 4. 幕府の厚い保護を受け、武士の義務として踊り念仏を強制したから |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------------|
- 問12 13世紀に起きた「元寇」に関連して、長崎県松浦市の鷹島神崎遺跡から軍船の船体やいかり、武器などが発見されたことは、当時の歴史的状況についてどのような事実を裏付けていますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 元が日本を占領した後に、松浦市に大規模な軍事拠点や港湾施設を建設して長期間駐留していたことを示している。 | 2. 二度の侵攻において、元軍の艦隊が暴風雨（台風）に見舞われ、多くの軍船が海中に沈没したという記録を実証している。 | 3. 日本側の武士が、元の優れた造船技術や武器を模倣するために、捕らえた軍船を解体して調査していたことを示している。 | 4. 元が日本との平和的な交易を目的として、船内に積んでいた武器を儀礼として海に投げ捨てたという習慣を裏付けている。 |
|---|--|--|--|
- 問13 北条泰時が「御成敗式目」を制定した歴史的な背景や目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 承久の乱の後、地頭と領主の間で増えていた土地をめぐる紛争に対し、公平な裁判の基準を示すため。 | 2. 朝廷が定めた律令制度を完全に廃止し、全国のすべての階層に適用される新しい統一法を作るため。 | 3. 蒙古襲来に備えて、御家人たちの団結を強めるために軍役の義務を強化しようとしたため。 | 4. 徳川氏による幕藩体制を維持するために、天皇や公家の行動を厳しく制限しようとしたため。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 武士の台頭を背景とした力強く写実的な特色を持つ、金剛力士像	鎌倉時代は武士が政治の実権を握った時期であり、文化もその影響を受けて「力強く、素朴で写実的」な特色を持つようになりました。東大寺南大門の金剛力士像は、彫刻家の運慶や快慶らによって制作された、この時代の力強さを象徴する代表的な作品です。選択肢にある「風神雷神図屏風」は江戸時代の俵屋宗達による作品であり、時代背景が異なります。
問2	答え 2 承久の乱	鎌倉幕府の3代将軍・源実朝が暗殺された後の混乱を機に、後鳥羽上皇が執権の北条義時を討つよう命じて起こした反乱です。幕府軍が勝利した結果、朝廷を監視するために六波羅探題が設置され、幕府の支配力が西日本にも強く及ぶようになりました。応仁の乱は室町時代に起こった戦いです。
問3	答え 1 浄土真宗	親鸞は法然の弟子であり、師が説いた「専修念仏」の教えをさらに深めて浄土真宗を確立しました。この教えは、自分自身の修行の力（自力）ではなく、阿弥陀如来の力（他力）に頼ることで救われるというもので、当時の農民など庶民の間に爆発的に広がりました。
問4	答え 2 世代を重ねるごとに一人あたりの領地が小さくなり、軍役などの負担に耐えられず御家人が困窮する原因となった。	複数の子に所領を分ける仕組みでは、代を追うごとに個々の御家人が支配できる面積が減少します。それにもかかわらず、幕府への奉公や元寇の防衛費用などの負担は重くのしかかったため、自給自足が困難なほどに御家人が困窮し、質入れや売却によって土地を手放す者が相次ぎました。
問5	答え 1 運慶と快慶	鎌倉時代の仏像制作では「慶派」と呼ばれる仏師集団が活躍しました。運慶や快慶らは、それまでの平面的で穏やかな表現から一変し、解剖学的に正確な筋肉の動きや躍動感を表現する新しいスタイルを確立しました。最澄・空海は平安新仏教の開祖、世阿弥・観阿弥は室町時代の能楽師です。
問6	答え 2 後醍醐天皇と足利尊氏	鎌倉時代末期、北条氏による専制政治への不満が広がる中、後醍醐天皇が倒幕の挙兵をしました。当初は幕府軍として派遣された足利尊氏でしたが、途中で天皇側に寝返って六波羅探題を攻略しました。同時期に新田義貞が鎌倉を攻め落としたことで、1333年に鎌倉幕府は滅亡しました。後鳥羽上皇は承久の乱（1221年）で幕府を倒そうとした人物であり、足利義満は室町幕府の第3代将軍です。
問7	答え 4 源頼朝の時代から続く武家社会の慣習を明文化した、最初の武家法である。	御成敗式目は、源頼朝以来の先例や、武士の間で重んじられてきた「道理」に基づいています。それまでの律令（公家法）は漢字ばかりで武士には難解でしたが、この式目は武士にも理解しやすい言葉で書かれ、後の室町幕府の法律や戦国大名の分国法にも大きな影響を与えました。
問8	答え 1 地頭は幕府の権威を背景に現地での支配力を強め、年貢の徴収をめぐる荘園領主と争ったり、農民に武力による不当な要求を行ったりした。	地頭は幕府から土地の管理権を与えられた武士ですが、次第に本来の領主である公家や寺社（荘園領主）の支配を脅かす存在となりました。「阿氏河荘の訴状」に記されているような、農民への暴行や強制的な労働、年貢の未納などは、地頭が現地での実質的な支配権（領主化）を狙って引き起こした対立の背景にあります。
問9	答え 4 運慶や快慶らによってつくられた金剛力士像	東大寺南大門の左右には、門を守護する一対の金剛力士像（仁王像）が安置されています。この像は、運慶や快慶を中心とする彫刻家集団（慶派）によって制作されました。浮き出た血管や筋肉の表現など、写実的で躍動感あふれる姿は、当時の武士の気風を反映した鎌倉文化の象徴といえます。阿弥陀如来像（定朝）は平安時代の国風文化、東大寺大仏や鑑真和上像は奈良時代の天平文化を代表するものです。
問10	答え 2 承久の乱の後に急増した、地頭と荘園領主の間の土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。	承久の乱で幕府側が勝利した後、幕府の支配力が西日本にも及び、各地で任命された地頭と、もともとの土地の持ち主である荘園領主との間で土地をめぐる争いが多発しました。北条泰時は、武士の社会で行われていた慣習や道徳に基づき、裁判の基準を明確に示すことで、御家人たちに公平な裁定を約束し、幕府への信頼を高めようとした。これが武家社会のための最初の法律となりました。
問11	答え 3 音楽や踊りを伴う親しみやすい方法で、特別な修行をせずとも救われると説いたから	鎌倉時代までの伝統的な仏教は難解な理論や厳しい修行が中心でしたが、一遍は踊りという娯楽的な要素を取り入れ、「阿弥陀仏に身をゆだねれば誰もが極楽浄土へ行ける」という簡潔な教えを説きました。この分かりやすさと親しみやすさが、日々の生活に追われる庶民に受け入れられた背景にあります。
問12	答え 2 二度の侵攻において、元軍の艦隊が暴風雨（台風）に見舞われ、多くの軍船が海中に沈没したという記録を実証している。	鷹島神崎遺跡から発見された軍船の残骸や武器は、二度の元寇のうち、特に弘安の役において元軍の艦隊が暴風雨に遭遇し、壊滅的な被害を受けたことを物理的に証明する貴重な資料です。当時の文献に残る「神風」による元軍の撤退という歴史的事実を、水中考古学の視点から裏付けるものとなっています。
問13	答え 1 承久の乱の後、地頭と領主の間で増えていた土地をめぐる紛争に対し、公平な裁判の基準を示すため。	承久の乱の結果、幕府の支配力が西日本にも及びましたが、それに伴い地頭と貴族などの荘園領主との間で土地トラブルが多発しました。執権の北条泰時は、武士の慣習に基づいた明確な判断基準を設けることで、御家人たちに公平な裁判を保証し、幕府への信頼を高めることを狙いました。